

事業の基礎情報

事業実施地域	武雄市、嬉野市、大町町
人材育成の対象	交通事業者、地域の区長、福祉・介護関係者、観光団体、まちづくり団体、自治体職員等
人材育成の手法	地域公共交通に係る講義やワークショップの開催
人材育成の内容	交通政策に必要な知識やデータ活用のノウハウを身に付け、地域公共交通の在り方についてコーディネートできる人材を育成する。
想定育成人数	60名

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

武雄市・嬉野市・大町町では、タクシー・バスの運転手不足、利用者減少による民間交通事業者の撤退、生活交通の確保が困難である等の共通する課題があり、持続可能な地域交通の在り方の検討が求められている。また、九州新幹線西九州ルート暫定開業に伴う国内外の観光客の交通手段確保等、地域の変化に応じた地域交通体系の見直しも必要である。

本事業では、交通事業者や自治体職員に加えて、様々な立場から地域交通をコーディネートできる人材を育成することで、地域住民・事業者・自治体が一体となり交通課題の解決に取り組める基盤を形成する。また、3自治体共同で事業を実施し、広域での公共交通の見直しや上述の課題等を解決するための新たな取組の検討を行う。

（事業の概要）

各自治体やバス事業者等から提供されるデータを素材に、交通政策の知見やデータ活用の知見を有するコンサルタントを招聘し、交通政策を考える上で必要な知識や手法を身に付けるための講義及びワークショップを行う。ワークショップでは、全国の事例を活用しながらケーススタディを行い実践力を身に付けた後に、それぞれの地域課題や地域の枠を超えた新たな取組みについて協議する。最終回では、ワークショップで協議した地域課題や、立案した取組みを発表する。そして、本事業を通じて得られた知見や取組み案については動画及びテキスト等で取りまとめ、連携団体のサイト及び広報誌等に掲載し、武雄市・嬉野市・大町町及び全国に向けて機運醸成・普及啓発を図る。

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

- ・ 地域住民が主体となり、持続可能な地域交通の在り方を考える機運を醸成する。
- ・ 運転手不足や観光客の交通手段確保などの地域課題解決に向けた新たな交通手段や取り組みを創出する。また、福祉や観光などの視点から交通課題の解決を図ることで、それぞれの分野との共創によるまちづくりが期待できる。
- ・ 近隣自治体間の課題を共有し議論することで、地域間での新たな取り組みを検討する。
- ・ データ活用の知見を活かし、地域交通体系の見直しを図る。

(事業実施手順・スケジュール)

1. 講義：各自治体やバス事業者等から提供されるデータを素材に、交通政策の知見やデータ活用の知見を有するコンサルタントを招聘し、交通政策を考える上で必要な知識や手法を身に付けるための講義を行う。
2. ワークショップ：全国の事例を活用しながらケーススタディを行い実践力を身に付けた後に、それぞれの地域課題や地域の枠を超えた新たな取り組みについて協議する。
3. フォローアップ：ワークショップで立案した交通政策案を発表する。アンケート回答・ヒアリング等を行い、事業の効果検証を行う。
4. 報告：本事業を通じて得られた知見や交通政策案については動画及びHP等で取りまとめ、連携団体のサイト及び広報誌等に掲載し、各自治体及び全国に向けて機運醸成・普及啓発を図る。

7月～10月
事業準備

11月
講義

11月～12月
ワークショップ

12月
フォローアップ

12月～1月
事業報告

(補助事業実施後の予定)

- ・ 補助事業実施後も地域間での連携を図り、MaaS等の新たな取り組みを検討する。
- ・ 本事業で得た人脈、育成した人材を活かし、他分野と地域交通の共創に取り組む。
- ・ ワークショップで議論した内容を地域公共交通計画へ反映する。